

職員による放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 \_\_\_\_\_ あ・りとる \_\_\_\_\_

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	パーテーションや個室の活用をしたり、公園や河川敷など地域資源を活用した活動をしたりなどして空間を広く使用できるよう工夫しています。職員配置は定められた人員基準を下回らないように配置しております。	バリアフリー化について、玄関前の段差や手すりの設置についての意見がありました。それらが原因で利用できない方が出ないように、必要に応じて対応していきたいと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	0		
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	0	職員が広く意見を出せるように、打ち合わせの機会を増やしています。職員それぞれに業務に対してPDCAを実施して取り組んでいると思います。自己評価に関しましてはHP内で見つけやすいように独立した項目で挙げています。	自己評価に関して、ホームページで公開するとともに保護者の方に紙面を配布しております。ただ、職員間の周知が不十分だったと思いますので、周知を強化していきたいです。第三者委員会は開いておりません。今後、事業所の拡大をすることがあれば考えていきたいと考えています。研修につきましては、コロナもあり、開催される研修が近年少なくなっており、独自研修も考えていく必要があると感じています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0		

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成	6	0	0	支援に関して「はい」が多くあることに、スタッフ全員の療育に対する高い意識を感じています。プログラムや支援に子どもが合わせるのではなく、子どもの成長や発達にプログラムや支援を合わせることが大切だと考えています。その考えをもとに支援を工夫したりプログラムを考えていたりしている成果だと感じています。保護者の方からも支援に関して高い評価をいただき大変感謝しております。	事業所の想い、方針、を今後も伝え続けていくとともに、計画やプログラムを立てること自体が目的になってマンネリ化しないように気をつけて、これからも子ども主体の療育を実施していけるように頑張っていきたいです。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行って	6	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげ	6	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	サービス担当者会議や移行支援会議に積極的に参加させていただいております。また、半年に1度、保護者の方と個別懇談を実施したり、連絡帳やお子さんの引き渡し時に話をさせていただいたりするなど、こまめに連携をとらせていただいています。障がいのない子どもと交流する機会については、交流会など特別な機会を設けることはしていませんが、外遊びをする中で一緒に公園で遊ぶなど関わる機会を持っています。	医療的ケアが必要な子どもに対する支援に関しては、現時点で十分な体制が整っているとは言えません。服薬が必要な子や心身ともに配慮が必要な子に対して、医療機関や保護者の方と連絡を密にして利用していただいています。自立支援協議会に直接参加はしていませんが、福井市障がい児支援事業所連絡会に参加して、その会の代表者が自立支援協議会に参加しているため、情報共有が出来ています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2	0		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	4	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	0		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	<p>契約時に運営規定等の要点を絞り説明させていただいております。相談に関しては、年2回の個別懇談や連絡帳やお迎え時の情報共有に加えて、平日午前中に必要に応じて相談できる環境を整えております。事業所の様子を定期的にお伝えするために、毎月「あ・りとり通信」を発行しています。個人情報に関して、取り扱いを慎重にするとともに、写真などの掲示については事前に保護者の方に確認をとってから掲示するようにしています。</p> <p>保護者会は設立しておりません。要望があれば設立しますが、保護者の方の負担も大きくなると思われるので、現実的ではないと考えています。コロナによる行動制限も少なくなってきたので、状況を見ながら「親子のつどい」のような活動を企画して、交流する機会を提供したいと思っています。また、地域の方々を招待するような活動も検討していきたいです。</p>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	2	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	3	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	<p>感染症マニュアルに基づいて、嘔吐時対応の研修を実施しました。ヒヤリハット事例を日報に記入し、職員全員で共有することで、再発防止のためにどうすればよいか考える機会を設けています。アレルギーについては、事前に保護者の方から情報を得て、必要に応じて医師の指示書を提出してもらっています。</p> <p>年に1度避難訓練を実施しています。事業所の引っ越しを行ってからはまだ訓練を実施できていないため、なるべく早い時期に実施したいと考えています。</p>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0	